

ERIS マークの付いた行事は
「えりす いしかりネットテレビ」でもご紹介しています。
あわせてご覧ください! <http://www.i-eris.tv/>



○ワールドカップのサッカーボールが 小学校に

サッカーワールドカップ南アフリカ大会開催に合わせ、市内郵便局から市内全小学校に同大会の公式試合球のレプリカが寄贈されました。このレプリカは、大会スポンサーのゆうちょ銀行が全国の郵便局窓口に表示していたもの。6月16日(水)、児童を代表して浜益郵便局の木田局長からレプリカを受け取った南線小学校の櫛引知菜未さんは「すてきなプレゼントをありがとうございます」と述べ、ほかの児童も目を輝かせて喜んでいました。



○今年もフリマは大盛況 ERIS

6月20日(日)、花川北コミセンで開催された第11回リサイクルフェスタ。20店舗が参加したフリーマーケットには、掘り出し物を求めて多くの市民が押しかけました。また、<リサイクルで触れ合おう>をテーマに、リサイクルプラザで作った廃材木工品の販売や、廃油で作った固形せっけんのプレゼント、牛乳パックで作る和紙体験などもあり、小さな子どもから大人までが“リサイクル”を楽しんでいました。



多くの人でにぎわったフリーマーケット。

○親子で石狩の食と自然を感動体験

7月3日(土)・4日(日)、1泊2日の日程で開催された「つくって発見! 食べて感動! いしかり食の体験ランド いただきますってなに?」は、石狩管内6市町村合同の食育プログラム。浜益区群別と川下、当別町の道民の森で開催され、79人の参加者中、石狩市からも15人の親子が参加しました。浜益ではインガニ釣りや海鮮カレーづくりに挑戦したほか、朝食を子どもたちだけで用意するなど、親子で食べることの意味や、自然の恵みの大切さを肌で感じることができたようです。



浜益ではインガニ釣りに挑戦!

釣ったインガニは、その場で揚げて食べました!

○市役所ってどんなところ?

6月30日(水)~7月2日(金)、南線小学校の3年生(5クラス、161人)が、社会科の授業の一環で、市内の公共施設(市役所・りんくる・市民図書館)の見学を行いました。写真は秘書広報課にやってきた元気いっぱいの3年5組の子どもたち。市役所の仕事について、それぞれの担当職員からの説明を一生懸命聞きました。



まちの話題

●まちの主な出来事を写真で振り返ります。



厚田産手打ちそばを使った「流しそば大会」。

◎スポーツの後は厚田の味覚に舌鼓

6月27日(日)、望来コミセン(みなくる)で、「2010厚田区スポーツと食の体験」が開催されました。スポーツレクと厚田の味覚を同時に楽しんでもらおうと、平成19年から毎年開催しているもので、好天に恵まれた当日は、玉入れや障害物競走のほか、くん製やジャムなどの加工品作りを子どもからお年寄りまで楽しみました。さらに、望来豚のくし焼きや厚田の特産品の試食会、販売も行われるなど大好評で、厚田区内はもとより市内全域から300人以上の来場がありました。

◎ニーハオ! 彭州市から留学生が来石

6月19日(土)、姉妹都市の彭州市(中国・四川省)から、魯学思^{ロガクシ}さん、唐雪梅^{トウセツバイ}さん、劉思進^{リウシジン}さんの3人の高校生が石狩市にやって来ました。3人は51日間、ホームステイをしながら市内の高校に通い、学校祭に参加するなど、さまざまな日本の文化に触れ、石狩での滞在中を楽しんでいます。すでに中国で日本語の勉強をしてきた3人。8月8日(日)までの滞在中、市内で見かけることがあれば、ぜひお話してみてください!



6月21日(月)、市役所を訪れ、白井副市長に抱負を語る(写真右から)劉さん、唐さん、魯さん。

◎カナダの食文化に触れる

7月3日(土)、花川北コミセンで、姉妹都市キャンベルリバー市のあるカナダをテーマにした講座が開かれました。いしかり市民カレッジの「もっと知りたい国々シリーズ」として開かれたもので、この日は北海道カナダ協会のマーク・ギャニオンさんとベジタブル&フルーツマイスターの石田ゆかりさんが、サーモンサラダスパゲティやメープル揚げ春巻きなどの料理の作り方を、軽快なトークを交えながら伝授。参加した方は「とてもおいしかった。カナダをもっと知りたい」と話していました。



◎ふるさと海辺フォーラム

7月10日(土)と11日(日)の2日間、海辺の保全活動に取り組んでいる団体や研究者、環境保全に関心のある市民など、全国から2日間で約100人が参加し、石狩浜を舞台としたフォーラムが開催されました。1日目の講演会や報告会、2日目の海浜植物保護地区の視察などを通して、失われつつある全国の海辺の自然を守るため、地域間のつながりをさらに強めることができました。今後も石狩浜海浜植物保護センターの情報発信にご注目ください!



車の乗り入れで貴重な植生が崩壊した砂丘を視察する参加者たち。